

科目ナンバー	C6101	要件	学則必修	授業形態	講義	対象学生	I A B II C D
授業科目	保育の心理学						
実施期	後期	単位数	2単位	授業担当者	高岡 昌子		
【科目の概要】							
保育現場で子ども理解を深めるために、子どもの発達に関する心理学的内容の基礎や保育実践に生かすことのできる心理学の領域における基礎的内容を学び、フィードバックを通して理解を深める。							
【この科目を通して獲得を目指す力】							【関連DP】
ア	保育実践に生かすことのできる心理学的内容の基礎を学び、基本的知識を身に付けている。						1-c 1-d
イ	実践力につながる心理学的な学びを生かして、子どもを理解して、子どもと効果的に関わることができる。						2-b 2-d
ウ	子どもを理解するために効果的な心理学的視点を養い、多角的に思考していくことができる。						3-c 3-d
エ	子どもの心理に興味をもち、現代の保育における心理学的問題や課題について関心をもち、考えていこうとしている。						1-e 4-d
【授業の内容】				【実施日】	【授業時間外学習の内容】		
1	オリエンテーション 「保育と心理学」を学ぶ意義と内容			月 日	シラバスを熟読しておく。		
2	人間の発達の道筋 生涯発達支援のための発達理解 発達観、子ども観と保育観			月 日	教科書を熟読し、人間の発達に関する重要事項を覚える。(1時間)		
3	身体と運動の発達と保育 子どもの発達と環境			月 日	教科書を熟読し、身体と運動の発達に関する重要事項を覚える。(1時間)		
4	知覚と認知の発達と保育			月 日	教科書を熟読し、知覚と認知の発達に関する重要事項を覚える。(1時間)		
5	言葉の発達と保育 ことばの発達と社会性			月 日	教科書を熟読し、言葉の発達に関する重要事項を覚える。(1時間)		
6	情緒の発達と自我の芽生え			月 日	教科書を熟読し、感情や自我の発達に関わる重要事項を覚える。(1時間)		
7	基本的信頼感の獲得 愛着の発達と保育			月 日	教科書を熟読し、愛着の発達に関する重要事項を覚える。(1時間)		
8	遊びと仲間関係の発達と保育 他者とのかかわり (獲得を目指す力の確認)			月 日	教科書を熟読し、遊びと人間関係の発達について学ぶ。(1時間)		
9	道徳性の発達と保育			月 日	教科書を熟読し、道徳性の発達に関わる重要事項を覚える。(1時間)		
10	学びのメカニズムと保育 学習のメカニズム			月 日	教科書を熟読し、学びのメカニズムを理解する。(1時間)		
11	動機付けの発達と保育			月 日	教科書を熟読し、効果的な動機付けを促す方法について学ぶ。(1時間)		
12	子ども集団の理解と子ども集団に対する保育者の関わり			月 日	教科書を熟読し、子ども集団の理解に必要な事項を覚える。(1時間)		
13	子ども援助とコミュニケーション			月 日	教科書を熟読し、子ども援助とコミュニケーションについて学ぶ。		
14	よりよい保育実践のために 保育の評価の必要性について 子育て支援とネットワーク			月 日	教科書を熟読し、保育実践のために必要な重要事項を学ぶ。		
15	地域の中での子ども支援 保育の心理学における重要事項の確認とまとめ、フィードバック			月 日	教科書を熟読し、子ども支援について理解を深め、総復習する。(1時間)		
16	まとめとフィードバック、自らの学びについての省察そして今後の課題の把握			月 日	自らの学びの程度を把握して振り返り、今後の学びへとつなげる。		
【教科書・テキスト】				【成績評価の方法】			
「保育の心理Ⅰ」 林邦雄・谷田貝公昭(監修)、谷口明子・西方毅(編) 一藝社				出席… 30%、授業態度… 20% 試験・レポート… 50%			
【参考書・教材】							
「保育の心理学Ⅰ」 井戸ゆかり編著 萌文書林 「乳幼児のための心理学」 小林芳郎(編著) 保育出版社 「教育心理学—保育・学校現場をよりよくするために—」 石上浩美・矢野正(編著) 嗟峨野書院 ※その他の参考書は随時紹介する。必要に応じてプリントを配付する。							
【履修要件及び履修上の注意事項】							
授業には教科書や配付された資料プリントなど全て毎回持ってくること。欠席した場合は、自分から積極的に欠席分を補うよう行動すること。							
【履修上の遵守事項】							
15分以上の遅刻は欠席とみなす。また、遅刻3回で欠席1回とみなす。							
【連絡先・オフィスアワー】							
連絡先： N14研究室(高岡)				オフィスアワー：			

＜チェックシート＞					
指標		基準	レベル1	レベル2	レベル3
ア	人間の発達の方則や発達段階説等、保育実践に生かすことのできる心理学的内容の基本的知識の習得		保育実践に関わる心理学的内容の基礎を学ぶ必要性を知っている。	人間の発達の方則や発達段階説など保育実践に生かすことのできる心理学的知識を身に付けている。	人間の発達の方則や発達段階説など保育の心理学における重要事項を理解しており説明できる。
イ	子どもを理解するために各発達時期における特徴の理解と、保育実践につながる心理学的な学びを生かした子ども理解		保育実践につながる心理学的な学びを生かして子ども理解していくことの必要性を知っている。	子どもを理解するために各発達時期における特徴を知り、子どもと関わっていく方法について考えることができる。	保育実践力につながる心理学的な学びを生かして、子どもと効果的に関わることができる。
ウ	保育に関わる心理学的基礎知識を生かした子どもを理解するために効果的な心理学的視点と心理学的知識に基づく多角的な思考		子どもを理解して適切な関わり方を考えて判断していくために心理学的基礎知識が必要であることを知っている。	子どもを理解するために効果的な心理学的視点を養い、心理学的知識を生かして保育について考えることができる。	保育に関わる心理学的基礎知識を生かして子どもや保育事例について、保育者や養育者そして子どもの立場に立って多角的に思考できる。
エ	現代の子どもの発達と心理、現代の保育における心理的問題や課題解決への意欲		子どもの発達や心理に興味をもって学ぼうとしている。	現代の子どもと保育における心理的問題や課題について関心を持ち、学びを深める。	子どもたちのために心理的問題や課題について積極的に考えている。
この科目を通して学んだこと、獲得できた力、できなかった課題等					